

答 申 書

令和6年10月23日付で境港市教育委員会より諮問を受けたことについて、以下のとおり答申として示すものとする。

1. 今後の学校給食費について

境港市の学校給食は、平成27年9月から学校給食センター化され、成長期における児童・生徒の心身の健全な発達のため、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を市内小中学校に安定供給してきた。また、魚食を中心とした地元の食材を使用しながら郷土愛を育み、食習慣や食に関する知識など教育活動の一環で食育にも力を入れてきた。

しかしながら、これまで食材の選定や献立を工夫することで据え置いてきた学校給食費も近年の物価高騰が続く中、学校給食摂取基準を満たし、安全・安心で多種多様な食材を使用した献立を立案し、児童・生徒に必要な栄養素を確保するための十分な質や量を維持することが難しくなってきた。

このことにより、令和7年4月1日以降の給食費は、本運営委員会で議論した結果、学校給食費一食当たりの単価を増額改定することが妥当であると判断した。

単価を改定するにあたり、以下の点にご留意いただきたい。

- ① 境港市独自の取り組みである魚食を推進した安全・安心で栄養バランスの取れた給食を、これまで値上げをせずに提供してもらっていたことは、ひとえに食材や献立を工夫して子どもたちにおいしい給食を提供している栄養教諭など職員皆様の取り組みによるものである。一方で、残菜が毎年たくさん出ていることも、子どもたちに食育の一環として考えさせなければならない問題であり、学校だけでなく家庭でも「フードロス」について意識させる取り組みも行っていく必要がある。
- ② 県内自治体でも、給食費値上げの波が来ているが、他自治体では無償化や一部補助などを実施している自治体もあり、保護者負担が増えないように取り計らっているケースが数多く見られる。「子育てするなら境港」を標榜している以上、子育て世帯の負担増については一般財源から増額分の補助など考えてもらいたい。また、これまで同様に低所得家庭への支援や第3子減免などの制度は継続してもらいたい。
- ③ 給食費値上げの判断を行うにあたっては、数年に一度見直しすべきとの意見や値上げしたら当分上げるべきではないという意見、また、物価の上下に伴う価格変動制にしてはどうかといった意見がありました。今後、学校給食費の金額を改定する際の基準となるものを準備しておく必要がある。

境港市教育委員会
教育長 山本 淳一 様

令和7年（2025年）1月23日
境港市学校給食センター運営委員会